

ふくい街角景気速報

(平成22年3月分)

調査期間 平成22年3月15日～29日 (回答率: 100%)

概況

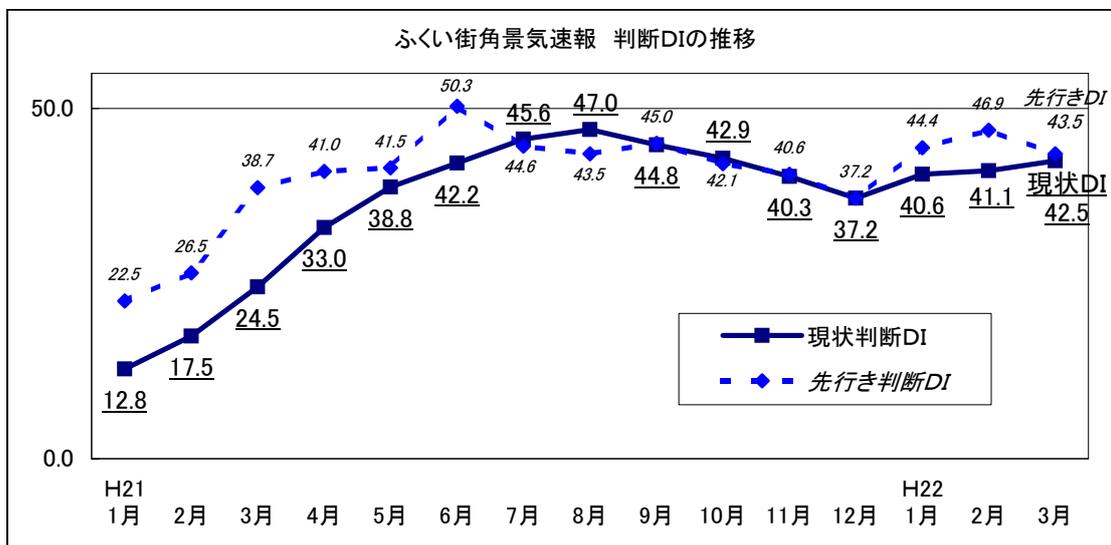
景気の現状は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

■景気の現状判断DI 42.5 (前月比 +1.4)

家計部門では、ショッピングセンターやスーパー等で、客数や客単価が横ばいまたは減少傾向で推移している状況がみられる。
 企業部門では、幅広い業種で受注量・販売量が横ばいで推移し、デフレ傾向の強まりもみられるが、製造・運輸関連の一部で受注増の動きもある。
 雇用部門では、求人が横ばいで推移するなど厳しい雇用情勢が続いている一方、求人関連の広告増など一部に改善の動きもみられる。

■景気の先行き判断DI 43.5 (前月比 ▲3.4)

家計部門では、観光関連でAPEC開催に伴う需要見込みがある一方、節約志向・低価格志向の強まり、雇用・所得状況の低迷を懸念する声が聞かれた。
 企業部門では、円高、デフレの動向や受注減少を懸念する声が聞かれるものの、眼鏡や電気機械、鉄鋼、運輸の一部では受注に明るさもみられる。
 雇用部門では、個人消費や企業業況の低迷から、厳しい雇用情勢が続くとの声が聞かれた。



<目次>	調査の概要	1 P
	1. 景気の現状判断DI	2 P
	2. 景気の先行き判断DI	3 P
	3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
	(2) 景気の先行き判断の理由	8 P
	4. 参考 (1) 調査対象の構成	1 2 P
	(2) 調査票	1 3 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別家

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	12	6
坂井	坂井市、あわら市	13	8	5	0
奥越	大野市、勝山市	11	6	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	16	6	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	21	12	6	3
計		100	53	34	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、42.5となり、3か月連続で上昇した。
 「変わらない」とする回答が半数を占め、回復傾向とする回答は1割強あった。
 家計部門では、ショッピングセンターやスーパー等で、客数や客単価が横ばい
 または減少傾向で推移している状況がみられる。
 企業部門では、幅広い業種で受注量・販売量が横ばいで推移し、デフレ傾向の
 強まりもみられるが、製造・運輸関連の一部で受注増の動きもある。
 雇用部門では、求人が横ばいで推移するなど厳しい雇用情勢が続いている一
 方、求人関連の広告増など一部に改善の動きもみられる。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H21 10	11	12	H22 1	2	3	(前月差)
合計		42.9	40.3	37.2	40.6	41.1	42.5	+1.4
家計動向関連		34.1	32.3	28.8	35.9	32.4	36.3	+3.9
小売		28.8	29.2	25.0	36.7	35.3	38.6	+3.3
飲食		37.5	41.7	42.9	15.0	10.0	15.0	+5.0
サービス		47.7	35.4	30.6	43.2	33.3	38.5	+5.2
企業動向関連		52.9	46.2	44.9	46.1	49.3	49.3	+0.0
製造業		52.9	46.2	47.1	47.0	51.9	50.0	▲1.9
非製造業		53.1	46.4	37.5	42.9	40.6	46.9	+6.3
雇用関連		52.1	56.3	47.9	44.2	53.8	50.0	▲3.8

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(2月調査結果)
 現状判断DI 42.1

○回答別構成比

	年 月	H21 10	11	12	H22 1	2	3	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		17.3%	18.3%	12.0%	10.8%	13.3%	15.0%	+1.7
変わらない		48.0%	39.8%	44.6%	52.7%	50.0%	50.0%	+0.0
やや悪くなっている		23.5%	26.9%	23.9%	24.7%	24.5%	25.0%	+0.5
悪くなっている		11.2%	15.1%	19.6%	11.8%	12.2%	10.0%	▲2.2

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、43.5となり、3か月ぶりに低下した。
 「変わらない」とする回答が半数を占め、悪化傾向とする回答は3割あった。
 家計部門では、観光関連でAPEC開催に伴う需要見込みがある一方、節約志向・低価格志向の強まり、雇用・所得状況の低迷を懸念する声が聞かれた。
 企業部門では、円高、デフレの動向や受注減少を懸念する声が聞かれるものの、眼鏡や電気機械、鉄鋼、運輸の一部では受注に明るさもみられる。
 雇用部門では、個人消費や企業業況の低迷から、厳しい雇用情勢が続くとの声が聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H21 10	11	12	H22 1	2	3	(前月差)
合計		42.1	40.6	37.2	44.4	46.9	43.5	▲3.4
家計動向関連		37.5	34.4	31.5	41.1	44.6	40.1	▲4.5
小売		36.4	30.8	28.3	44.5	46.3	42.1	▲4.2
飲食		50.0	54.2	35.7	15.0	30.0	20.0	▲10.0
サービス		31.8	33.3	38.9	43.2	45.8	42.3	▲3.5
企業動向関連		48.5	46.2	43.4	49.2	49.3	49.3	+0.0
製造業		49.0	47.1	42.3	50.0	52.9	51.0	▲1.9
非製造業		46.9	42.9	46.9	46.4	37.5	43.8	+6.3
雇用関連		43.8	50.0	41.7	44.2	50.0	42.3	▲7.7

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(2月調査結果)
 先行き判断DI 44.8

○回答別構成比

	年 月	H21 10	11	12	H22 1	2	3	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	1.1%	2.2%	3.1%	0.0%	▲3.1
やや良くなる		14.3%	11.8%	10.9%	8.6%	13.3%	15.0%	+1.7
変わらない		46.9%	52.7%	42.4%	60.2%	55.1%	52.0%	▲3.1
やや悪くなる		31.6%	21.5%	27.2%	22.6%	25.5%	25.0%	▲0.5
悪くなる		7.1%	14.0%	18.5%	6.5%	3.1%	8.0%	+4.9

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	・相変わらず厳しい状況が続いているが、ここに来て客単価が少しずつ戻ってきている。
		奥越	写真館	・お客様が集中して来店することがあり、お断りすることもある。
		坂井	観光・レジャー施設	・少しずつだが、観光のお客様がでてきている。
	企業動向	奥越	繊維	・季節要因があるものの、急激な受注増があり、変化の兆しを感じられる。
		丹南	眼鏡	・受注量はやや良くなっているが、価格が安いいため売上増につながらない。
		奥越	電気機械	・例年は受注が減少する時期だが、減少傾向にはない。
		坂井	非鉄金属	・足下の受注が増えてきている。
	雇用	福井	運輸	・貨物運送の売上において、繊維、化学（フィルム等）で前年比増加となっており、1月ごろまで2番底を心配したものの、その懸念は薄まっていると考える。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・大きな変化はないが、求人情報を見ると、以前に比べ様々な業種からの求人がある。
	変わらない	家計動向	福井	就職情報誌編集者
福井			百貨店、ショッピングセンター	・客単価の減少傾向は変わらず、価格の安い物、必要な物だけを買う買い方に変化している。 ・自分の気に入った付加価値商品には抵抗なく買う傾向がある。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・土日は売上が好調に推移しているが、平日は客数も少なく、売上也厳しい状況である。 ・依然として景気が回復していないように思われる。
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・この一年、厳しい経済環境の中、消費者の節約志向は続いている。 ・従来の衣料・住居関連だけでなく、下期より食品までその傾向が出てきている状況である。
丹南			百貨店、ショッピングセンター	・売上額、買上客数、客単価が横ばいで推移している。
嶺南			スーパー	・買上点数や客単価は横ばいで推移しているが、来客頻度が減少している。
福井			スーパー	・直近3か月で見ると、客数・客単価とも横ばいである。
丹南			スーパー	・客数、販売量、単価のいずれも上がってきていない。競合店においてもよく売れているという雰囲気は感じられず、全体的に沈滞ムードが続いている。
嶺南			商店街	・2月は毎年悪いが、それ以上に悪いと感じる。メーカー、問屋も嘆いている。
嶺南			家電量販店	・来客数、販売量、単価ともに変動幅が少ない。
嶺南			ドライブイン	・暖かくなってきて来客数も増えてきているが、商品の買上げが少ないように感じる。
福井			コンビニエンスストア	・年末に比べると、現在の方が来客数、販売量とも少ないと思う。
奥越	精肉販売店	・お客様の購買力がなく、値段の高い商品が売れない状況が続いている。		

現状	分野	地区	業種	理由
		丹南	小売店	・お客様から予約注文が出てくるなど、少しずつ動きが出てきた。
		坂井	居酒屋	・客数が安定して推移している。
		丹南	菓子製造・販売店	・客単価が下がったままで、安価な物しか売れない。
		福井	結婚式場	・来客数や客単価の減少傾向が続いている。
		福井	ビジネスホテル	・来客数、客単価が横ばいで推移している。
		福井	ビジネスホテル	・宿泊客（団体利用）が減少している。
		嶺南	旅館	・旅行者などの短観では、3月以降好転の兆しというメッセージが出ているが、低価格志向や近場志向については、一向に意識の変化が見られない。 ・特に日帰り旅行の不振が、観光面で大きいように思われる。
	企業動向	福井	繊維	・1～2月は少し良くなったが、3月はまたダウンになっている。
		坂井	繊維	・受注量や販売先の様子に変化がない。
		坂井	繊維	・小ロット、短納期であり、ますますデフレの傾向が強まっている。
		丹南	眼鏡	・小売店が安物競争では利益を取れなくなってきた。
		嶺南	電気機械	・国内はあまり変化がない。 ・中国は家電関係の省エネ助成金が打ち切りになることから在庫調整が入っている。 ・悪化はしていないが、大きな変化はない。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子に変化がみられない。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量や販売量ともに変動がない。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量が横ばいで推移している。
		嶺南	医薬品	・依然として景気低迷の影響から、一般薬、健康食品の販売に回復の兆しがみえない。
		福井	金融機関	・個人消費の伸び悩み、中小企業の資金繰り不安など、まだ好材料が出てこないが、全国的に景況は改善されていると見る。
		福井	金融機関	・受注量や受注価格の動きから。
		嶺南	建設業	・毎年、工事発注が出る時期であるが、発注が少ない。
		嶺南	運輸関連	・依然国内物流が回復していない。 ・デフレ傾向により、運賃も低下傾向にある。
		嶺南	商社	・末端価格の下落に伴い、川上から川下までどこも儲からない状況が続いており、売上高の減少を余儀なくされている。
		福井	商社	・自動車ガソリンの消費が若干悪くなってきている。 ・軽油は建設、運輸向けが低調、重油は工場生産で少し持ち直しがみえる。
	福井	IT関連	・受注状況に変化がみられない。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・管内の有効求人倍率は県内でも低水準にあり、採用者数は若干増加しているが厳しい状況にある。 ・地元高校生の就職率は、ほぼ100パーセントとなっている。
		丹南	自治体労働政策担当課	・有効求人倍率、離職者数、企業の業況から。

現状	分野	地区	業種	理由
		福井	ジョブカフェ担当者	・企業巡回情報による求人案件は増えていない。 ・ハローワークの求人状況も変化がない。 ・ジョブカフェの新規来所者が増えている。
		奥越	高校就職担当者	・正規雇用ではなく、契約社員や臨時採用といった雇用形態の比率が高くなっていくと思われる。
		福井	大学就職担当者	・23年3月卒の求人状況は、全体で前年同期比の2割減となっている。
		福井	就職情報誌編集者	・求人数が横ばいで推移している。
		福井	人材派遣会社	・求人数、求職者の動きに変化がみられない。
やや悪くなっている	家計動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	・美術、時計の一品単価はある程度下げ止まりの傾向があるが、宝飾の一品単価は前月よりも下がっている。
		嶺南	百貨店、ショッピングセンター	・衣料販売部門の売上高が特に良くない。 ・各店舗のメーカー担当者が北陸3県の中でも、特に福井県の成績（販売）が良くないと常時言っている。
		奥越	百貨店、ショッピングセンター	・売上が対前年ベースの95%という状態が続いている。
		福井	大型小売店	・依然底辺価格での競争をやむなくされている。点数微増でも単価ダウンで結果として売上増につながっていない。
		丹南	商店街	・客数、客単価が減少している。
		嶺南	商店街	・天気、気温の変動が激しく、春物が売れない。また、バレンタインデー、ホワイトデーの盛り上がりが少なく、売上減になっている。
		坂井	特産品等販売店	・天候が悪かったこともあるが、来客数が極端に少ない。
		福井	衣料品販売店	・比較的競合の少ない形態で店舗展開を行っているにもかかわらず、平均客単価を伸ばすのが難しくなっている。
		嶺南	コンビニエンスストア	・客単価の低下、商品の低価格化が進んでいる。
		福井	クリーニング店	・お客様の財布のひもが固くなっている。
		丹南	美容室	・日銀などの予測では景気は上向きのような見方が出ているが、地方にそのような芽はない。 ・主人がいつ解雇されるか、自分がリストラされるかなど、暗い話題が多い。 ・病院の給食係の婦人は、政府の方針で入院患者が取れなくなったために解雇されるなど、政府の施策も景気悪化に拍車をかけている。
		嶺南	レストラン	・来客数・消費単価とも低減傾向が続いている。
		坂井	旅行代理店	・販売量は依然として低迷を続けており、明るい素材は全くない。 ・低価格商品を投入しても反応は鈍く、好調であったシルバー層も動きが鈍くなっている。
		福井	旅行代理店	・売行きが悪いうえに、単価も低くなっている。
		坂井	土産品等販売店	・高速道路料金の割引効果で、土日祝日はお客様が若干増えてきているものの、お土産にお金を使うことはないようである。
福井	タクシー運転手	・客の出足が悪い。		

現状	分野	地区	業種	理由
	企業 動向	丹南	眼鏡	・原産国は関係なく、眼鏡自体が売れていない。
		丹南	酒造業	・受注が前年比ベースで減少が続いている。
		福井	不動産業	主要取扱品（不動産価格）の下落、取扱量の減少、購入見込客の年収低下、ボーナスの未払いなど、厳しい状況が続いている。
		坂井	I T 関連	・以前よりも正式受注までに時間がかかる。導入が延期になるなどの話が増えてきた。
悪くなっている	家計 動向	嶺南	大学就職担当者	・来年度卒業見込生の就職活動に関して、業者主催の就職説明会の参加企業が少ない傾向が続く一方、参加学生数は大都市圏、地方とも増加している。
		福井	商店街	・空き店舗が多く見られる。
		奥越	商店街	・仕事が入ってこない。
		坂井	大型小売店	・来店客数はほぼ横ばいだが、客単価の下落が続いており、買い控えの傾向が強い。
		福井	焼肉店	・来客が減少している。
		福井	スナック	・不景気である。
		嶺南	割烹	・1日の来客数が減っているのと同時に、客単価が落ちている。
	嶺南	ドライブイン	・来客数が前年比3～4割減少している。	
企業 動向	企業 動向	嶺南	タクシー運 転手	・客が極力お金を使わなくなっている。 ・飲み屋街も閑古鳥が鳴いている。
		奥越	酒造業	・モノが動かないため、営業が困難である。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計動向	福井	スーパー	・低価格志向に変化はないと思われるが、1人当たりの利用点数にわずかだが上昇の兆しがある。
		丹南	百貨店、ショッピングセンター	・競合店の閉店による客数増が見込まれる。 ・一方、地域の失業者も増え、雇用の悪化も予想される。
		奥越	精肉販売店	・陽気的にも暖くなるため、モノが動き出すと思われる。
		丹南	小売店	・昨年の数字が底で、今年は少しずつ持ち直してくると思われる。
		福井	ビジネスホテル	・地元イベントが活性化され、APEC関連の来客も予想されるため。
		福井	ビジネスホテル	・APEC開催前後の来客や、コンサート関連の宿泊が予想されるため。
		福井	旅行代理店	・昨年のインフルエンザのような障害が発生しなければ、昨年よりさらに悪くなることはないと思われる。
		坂井	観光・レジャー施設	・先行きは若干良くなっていくように感じる。
	企業動向	丹南	眼鏡	・中国で日本製眼鏡の売行きが良くなっているため、今後期待が持てる。
		奥越	電気機械	・各社設備投資を最小限にしているためか、材料メーカーの納期がタイトになってきている。
		丹南	鉄鋼	・先行き不透明感が強いものの、国内受注に明るさが見えてきた。
		福井	運輸	・大手自動車会社のリコール問題から来る影響が懸念材料ではあるものの、景気が底から若干上向いている。 ・現状までの推移で予想する限り、回復トレンドが続くものと考えられる。
	変わらない	家計動向	福井	百貨店、ショッピングセンター
福井			百貨店、ショッピングセンター	・美術、時計といった嗜好性の高い物は下げ止まっており、宝飾の単価がさらに下がることはないと思われる。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・お客様の消費状況を見ると、特別奉仕品はよく動くが、必需品以外は動きが鈍い状況にあり、今後の景気回復は厳しいと思う。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・景気が上向いていると言われているが、実感が伴わない。
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・政府の景気対策などを見ていると、今後もすぐに景気が良くなる見通しは立たない。 ・今後、子ども手当の支給などが決まれば、多少プラスの要因として働くことを期待している。
嶺南			百貨店、ショッピングセンター	・ショッピングセンターを取り巻く従業員の方々（パート職員）の給与が全く上がっていないという声を強く聞く。
丹南			スーパー	・景気は少し上向きつつあるというニュースも流れているが、雇用情勢は依然として厳しく、またデフレも続いており、まだ当分の間消費が活発になるとは思えない。
嶺南			商店街	・デフレによる利益低下対策が必要である。

現状	分野	地区	業種	理由	
		丹南	商店街	・景気が悪く、消費をせずに貯蓄をする人が多いため。	
		嶺南	ドライブイン	・春休みやゴールデンウィークに向けて、景気が良くなることを期待する。	
		福井	コンビニエンスストア	・近隣に競合店ができ、今以上のサービス、品揃えに力を入れていかないとお客様をとられてしまうため。	
		坂井	特産品等販売店	・景気が良くなる材料がない。	
		福井	衣料品販売店	・停滞した状況が変わらず続いている感じが強く、これからも良くなる感触はなく、このまま続くと思われる。	
		福井	結婚式場	・2～3か月先では、景気は変わらないと思う。	
		奥越	写真館	・商売の勝ち組、負け組がはっきりしているが、淘汰の動きも落ち着きつつある。	
		嶺南	旅館	・現状では良くなる要素が見つからない。	
	企業動向	奥越	繊維	・円高、デフレが景気動向にどのように影響するのか見えにくい状況が続く。 ・中国を含めた世界景気の回復がポイントとなる。	
		福井	繊維	・市場の動きが少し止まってきている。	
		坂井	繊維	・円高やデフレなどが続いているため。	
		坂井	一般機械	・新年度への期待と、設備投資への予算は上向きにはならないように思える。	
		嶺南	電気機械	・国内は雇用をはじめ、厳しい状況が続くものと思われ、原材料関係の高騰も予想されており、景気への影響が懸念される。いずれにしても、中国を中心とした海外次第である。	
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きから。	
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動き、取引先の様子から。	
		嶺南	医薬品	・早期の景気回復の見込みは立てにくく、当面、売上回復の見通しはもてない状況である。	
		嶺南	商社	・今後急激に景気が上向くとは考えられず、どちらかという悪化傾向にあると考える。	
		福井	商社	・ガソリンは、節約と燃費の良い新車等への入替えにより、今後減少傾向が続く。 ・軽油も建設、運輸向けで悪い状況が続き、重油も現状維持で推移するとみている。	
		嶺南	建設業	・4月以降の発注が遅くなり、当地域における来年度の予算付も少ない感じがする。	
		福井	金融機関	・北陸地区は都市地区ほどの景気改善はみられないと思うが、緩やかな上昇も感じられる。	
		福井	金融機関	・売上高、利益の状況に改善がみられない。	
		福井	IT関連	・受注状況が変わらず推移するとみている。	
		嶺南	運輸	・自動車産業の回復が、国内景気を回復させると思われる。	
		雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・市民の消費額が依然低迷している。
			丹南	自治体労働政策担当課	・生産・雇用情勢は、大手企業を中心に改善している。 ・中小企業においては、まだまだ厳しさが続き、雇用情勢も厳しい。
			福井	ジョブカフェ担当者	・企業の環境があまり変化していないので、求人案件もすぐには増えない。
			嶺南	ジョブカフェ担当者	・消費者にとっては景気に対する不安があり、消費動向は変わらない。
福井	大学就職担当者		・地方の製造業、ソフト関連企業が低迷している。		

現状	分野	地区	業種	理由
		奥越	高校就職担当者	・良くなる材料が見受けられない。 ・新生活に向けた個人消費が見込める時期であり、期待している。
		福井	就職情報誌編集者	・良くも悪くも大きな動きがない。
やや悪くなる	家計動向	福井	大型小売店	・何とか前年ベースで保っているが、値入、粗利益率、額の面で追従しておらず、結果として報酬の改善が見込めない。
		嶺南	家電量販店	・4月よりテレビのエコポイントの変更でアイテム数が少なくなるため、伸びとしては少し落ち込むのではないかと。
		嶺南	商店街	・政治、経済、社会が混迷しているため、景気も良くならない。
		嶺南	コンビニエンスストア	・好材料が見当たらないため。
		坂井	土産品等販売店	・今まで以上に必要最小限でお金を使う節約型の人たちが増えてくるとされる。
		福井	クリーニング店	・賃金がまだ下降線と思われる。 ・デフレスパイラルが加速している気がする。
		丹南	美容室	・地場産業の眼鏡や漆器も仕事がなく、不況にあえいでいる。転業したいが、転業先もないと嘆く声を聞いている。 ・美容業界でもお客様の来店スパンが伸びたり、元へ戻らない状況にある。
		福井	焼肉店	・1か月ぐらいは歓送迎会等で売上増となるが、その後は減少する。
		坂井	居酒屋	・建設業の不振による若干の影響が懸念される。
		嶺南	ドライブイン	・失業者数の増加が続き、経済社会の安定化が見えてこないため
	嶺南	旅行代理店	・同業、関係機関の廃業・倒産が続いており、今後も増加が予想される。	
	企業動向	福井	不動産業	・人口減少、高齢化社会を迎え、不動産市場のニーズも減少している。
		坂井	非鉄金属	・年度が替わり落ち込むと予想をしている。
		奥越	酒造会社	・香港向けが順調に動き出しており、海外市場開拓が今後も課題である。 ・中国の食品衛生問題が早く政治決着され、日本食品の輸出障壁が改善されてほしい。
		丹南	酒造会社	・景気低迷が続いていることから、高級品である地酒の需要が増えるとは考えにくい。
		坂井	IT関連	・良くなって欲しいと思うが、政治の混迷もあり心理的な面で客先が大きな投資をすることはせず、相変わらず慎重な姿勢は変わらないとみている。
	雇用	嶺南	大学就職担当者	・来年度の採用予定者について、大企業は減少し、中小企業は採用意欲があっても「良い人材」の選別が厳しくなっており、就職活動がより厳しくなっていくことが予想される。
福井		就職情報誌編集者	・3、4月をピークにやや落ち込むと思われる。	
福井		人材派遣会社	・労働基準法の改正が行われるため。	
悪くなる	家計動向	坂井	大型小売店	・企業業績は多少回復しても、所得が伸びなければ消費には結びつかない。
		福井	家電量販店	・中小企業の倒産等が懸念される。
		嶺南	レストラン	・新規店の開店、消費単価の低下傾向継続が予想される。

現状	分野	地区	業種	理由
		嶺南	割烹	<ul style="list-style-type: none"> ・企業努力はしているがデフレの改善にはほど遠い。 ・子ども手当もよいが、その税源を確保するため、我々の業種はもっと苦しむことになると思われる。
		嶺南	タクシー運 転手	<ul style="list-style-type: none"> ・景気が良くなる政策がない。
		福井	タクシー運 転手	<ul style="list-style-type: none"> ・現状より外へ出なくなるように思われる。
	企業 動向	坂井	繊維	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量が落ち込む時期を迎えるため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		53
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	3
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	美容室等サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	2
企業動向関連		34
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	2
	運輸	2
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)